

最高裁判所(第二小法廷) 平成●●年(〇〇)第●●号、平成●●年(〇〇)第●●号 法人税更正
処分取消等請求上告及び上告受理事件

国側当事者・国

平成24年11月2日棄却・不受理・確定

(第一審・岡山地方裁判所、平成●●年(〇〇)第●●号、平成22年5月25日判決、本資料26
0号-88・順号11444)

(控訴審・広島高等裁判所岡山支部、平成●●年(〇〇)第●●号、平成23年9月1日判決、本資
料261号-156・順号11746)

決 定

上告人兼申立人	A株式会社
同代表者代表取締役	甲
同訴訟代理人弁護士	谷川 勝幸ほか
被上告人兼相手方	国
同代表者法務大臣	滝 実
同指定代理人	石村 竜太

裁判官全員一致の意見で、別紙のとおり決定。

平成24年11月2日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官 千葉 勝美

裁判官 竹内 行夫

裁判官 須藤 正彦

裁判官 小貫 芳信

(別紙)

第1 主文

- 1 本件上告を棄却する。
- 2 本件を上告審として受理しない。
- 3 上告費用及び申立費用は上告人兼申立人の負担とする。

第2 理由

1 上告について

民事事件について最高裁判所に上告をすることが許されるのは、民訴法312条1項又は2項所定の場合に限られるところ、本件上告理由は、違憲及び理由の不備をいうが、その実質は事実誤認又は単なる法令違反を主張するものであって、明らかに上記各項に規定する事由に該当しない。

2 上告受理申立てについて

本件申立ての理由によれば、本件は、民訴法318条1項により受理すべきものとは認められない。